

別紙 3-2

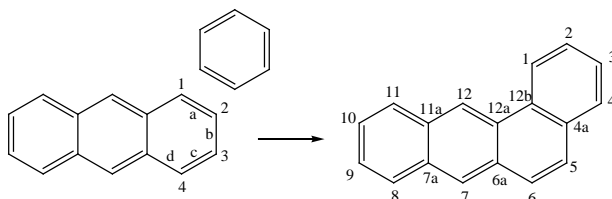
届出名称の記載方法について

新規化学物質の届出名称、変化物名称及び不純物等の名称の記載方法については、以下のとおり記載してください。

1. 名称は IUPAC 名で記載してください。
2. 別名が存在する場合には、その名称も記載してください。
3. 全角文字を使用してください。
例) 文字：漢字、ひらがな、カタカナ、a、b、A、B、 α 、 β 等
例) 数字：1、2、I、II 等
例) 記号：括弧 $\{ [()] \}$ 、プライム $'$ 、ハイフン $-$ 、つなぎ符号 $=$ 、カンマ $,$ 、ピリオド $.$ 、中点 \cdot 等
4. スペースは全角を使用してください。
例) ベンゼン-1, 2, 4-トリカルボン酸 1, 2-無水物
5. 混合物の場合はそれぞれの名称を含有量の比率の高い順にその含有量とともに記載してください。
6. 高分子等で範囲を定める場合は、例のように記載してください。
例) 分子量 1, 000 未満の成分の含有率が 1 パーセント以下であるものに限る。
7. 炭素数、重合度は下付き 1/2 文字ではなく、全角を使用してください。
例) $C_{1\sim 4}$ \rightarrow $C = 1\sim 4$
例) $n =_{1\sim 100}$ \rightarrow $n = 1\sim 100$
8. 指示水素は大文字イタリック体の *H* を使用してください。
9. 炭化水素官能基の異性体を示す記号は、小文字イタリック体を使用してください。
例) ターシャリ \rightarrow *tert*
10. 幾何異性体の別を表す記号は大文字又は、小文字イタリック体を使用してください。
例) シス、トランス、E、Z、 \rightarrow *cis*、*trans*、*E*、*Z*
11. 不斉炭素原子の立体の区別をする記号は、大文字イタリック体を使用してください。
例) R、S \rightarrow *R*、*S*
12. 置換位置を表す記号は、小文字イタリック体を使用してください。
例) オルト、メタ、パラ \rightarrow *o*、*m*、*p*

13. 縮合炭素環及び縮合複素環の縮合位置を表す記号は、小文字イタリック体を使用してください。

例) ベンゾ [a] アントラセン



14. ポリマー中のモノマー単位の配列状態は、以下の配列記号を小文字イタリック体で使用してください。

無指定: *co* 統計: *stat* ランダム: *ran*
交互: *alt* 周期: *per* ブロック: *block*
グラフト: *graft*

15. 括弧の順序は $\{[(\{[()]\})]\}$ を繰り返してください。
16. プライムは「'」(シフト J I S : 8 1 8 C) を使用してください。「'」は使用しないでください。
17. ハイフンにすべき文字は「-」(シフト J I S : 8 1 7 C) を使用してください。
18. 長音文字にすべき文字は「-」(シフト J I S : 8 1 5 B) を使用してください。
ハイフン「-」は使用しないでください。
19. つなぎ符号にすべき文字は「=」(シフト J I S : 8 1 8 1) を使用してください。
20. 「,」「.」「·」「,」はその状況に応じて正しい記号を使用してください。

例) カンマ「,」は位置番号を区切る場合等

1, 2-ジクロロベンゼン
C=12, 14, 16及び18

例) ピリオド「.」はスピロ炭化水素等

スピロ [3. 4] オクタン

例) 中点「·」は高分子モノマーを区切る場合等

アクリル酸・ブター1, 3-ジエン・メチル=アクリラート・スチレン共
重合物

例) 読点「,」は混合物の構成成分を区切る場合等

Aを主成分(90パーセント以上)とする、A、B及びCの混合物

21. α -アミノ酸の α -炭素原子の絶対配置は、化合物名に小さい頭文字DかLを付けてください。

例) L-アスパラギン

※なお、届出をされる際には再度名称を確認していただき、括弧の数や、メチルとエチル、ハイフン「-」と長音「-」、カンマ「,」と読点「,」、中点「·」とピリオド「.」が混同していないか十分に注意してください。

以上